



5月13日(日)玉名高校・玉名高校附属中学校体育祭が、雨の影響を受けながらも、無事に終了しました。総合優勝は青团、中学演技優勝も青团でした。予定の競技をいくつか省いた短縮版プログラムでの実施でしたが、それでも中学生は精一杯の声援を送っていました。体育祭後の感想をご紹介します。

今年は雨で短縮プログラムになりました。練習時間も短くとても大変でした。私は青团のリーダーになり、青团は玉附が始まってまだ一度も優勝したことがなく、今年こそは優勝したいと思い頑張ってきました。玉附の集団演技では、3団それぞれの特色があり、違った良さがありました。青团は「かっこいい」を前面に出しました。練習ではまとめるのが大変でしたが、本番が近づくにつれて、皆の心が一つになり、初めて青团が優勝することができました。高校も15年ぶりに青团が優勝してとても嬉しかったです。玉附に来てよかったと思いました。(富田さん)



体育祭では2つ心に残っています。1つは中学校の集団演技です。私は輝団の応援リーダーとして、練習では間違えることがありましたが本番では間違えることなく演技することができました。演技中は演技全体を見ることはできませんが、いい演技ができたと思っています。2つめは、高校生の人文字です。声やリーダーの演技などからものすごい迫力が伝わってきました。1年後に自分たちがしないといけないと思うと自信がないです。それでも先輩以上の人文字をやってみたいと思います。また、来年こそは優勝したいです。(宗くん)



中学校最後の体育祭が終わりました。この1ヶ月長いようで短いものでした。僕は応援団と生徒会執行部の両方に入っていて、生徒会としての準備や応援団としての指導、リーダー練習と、毎日遅くまで活動しました。正直「きつい」と思ったこともありましたが、団員たちがついてきてくれることから、弱音なんか吐いていられないと、頑張ることができました。今回、大変でしたが、終わった後の達成感はとても素晴らしいものでした。最高の思い出ができました。(安岡くん)



私は、3年生になって初めての「挑戦」をしました。それはダンスリーダーになったことです。先輩方がされてきたように団員をまとめる立場になってみたいと強く思い、立候補しました。しかし、なってみると、時間のなかでの曲決め、構成、団員への指導と簡単ではありませんでした。まずは、ダンスをそろえ、楽しく踊ってもらうことを目標としました。でも、皆さんが一生懸命についてきてくれたおかげで、まわりから「良かったよ」と言われるまでに仕上がりました。赤団の団員、そして応援リーダーや先生方に感謝しています。(菅原さん)



「体育祭」は玉高・玉高附中の大きな文化です。一つの大きなドラマでもあります。「人文字」はその象徴でしょう。また、今後も玉高附中生、玉高生(玉高附中出身)が感じ取った思いをご紹介します。2018.5.15 副校長 山部